足立区NPO情報紙
つくる。つながる。ひろがる。

A-PARTNERS

No.31
2020年9月15日発行

"今"は子どもたちが いちばん知っている

特集 子どもを中心に地域を創る
一般社団法人 あだち子ども支援ネット

聞きたいあなただけのストーリー
千住プレイス

頼って！おいでよ！子育ておまかせ処
NPO法人 Chance For All
ヘルスケアサポート N Rehabilitation Labo

センターピックアップ
ボードゲームズ

コラム：コーディネーターのつぶやき
SDGsとは？

編集・発行　2020年9月15日　足立区NPO活動支援センター
〒123-0851　足立区梅田7-13-1（梅田図書館１F）　TEL：03-3840-2331　FAX：03-3840-2333　E-mail：information@adachi-npo-center.com　担当所管：足立区 区民参画推進課 区民参画支援係　TEL：03-3880-5020
足立区

子どもの居場所　子育て支援　安心して暮らせる環境や仕組みづくり

頼って！おいでよ！子育ておまかせ処

NPO法人 Chance For All
主な活動場所：梅島、西新井、綾瀬、六町、千住
お問い合せ　：info@chance-for-all.org

「遊びこそ最高の学び！」子どもたちの成長を全力でサポートしています。

活動内容

小学生の子どもたちが放課後の時間に通う、学童保育を運営しています。みんなで遊んだり、おやつを食べたり、学校の宿題に取り組んだりして過ごしています。日々の生活の中で、子どもたち一人ひとりの成長の見守りを大切にしています。

メッセージ

地域の方々と共に、子どもたちの成長を見守っていきたいと考えています。現在子どもと一緒に遊んでくれるボランティア募集中です！

ヘルスケアサポート N Rehabilitation Labo
主な活動場所：足立区西部
お問い合せ　：n.rehabilitation.labo@gmail.com

パパ・ママ・キッズの身近なカラダの専門家

活動内容

「親子姿勢教室」や「運動教室」を企画・運営し、子どもの身体作りをサポートしています。子どもへの運動指導だけでなく、パパ・ママに対しても医学的に正しい知識を提供する機会をつくっています。

メッセージ

理学療法士として培った知識をわかりやすく皆さんに伝えられるように活動しております。お子さんの姿勢や身体でお困りのことがあれば、ぜひご連絡ください。

「くわしく聞きたい！」
「自分も何か始めたい！」
と思ったら・・・

地域にどんな活動があるのかな？
私にも何かできるかな？
もっといろいろ知りたい!!
と思った方は、**足立区NPO活動支援センター**にアクセスしましょう。

あだち協働 パートナーサイト　Twitter　Facebook

足立区梅田7-13-1
（梅田図書館１Ｆ）
TEL 03-3840-2331
information@adachi-npo-center.com

コーディネーターのつぶやき

SDGsとは？

皆さんはSDGs（エスディージーズ）という言葉を聞いたことがありますか？

SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲット、そして232の指標によって構成されています。これらは単なるスローガンではなく、実際に2030年までに世界の抱える社会課題を解決していくための戦略という側面もあるでしょう。

ただ、気候変動やエネルギーなどの項目が印象強く「SDGs＝環境問題解決」のように誤解している方も少なくありません。しかし実際は、社会の抱える幅広い課題が包括されており、関わる分野は多岐にわたります。

故にSDGsの本質は、社会課題解決のために個々の分野に個別に取り組んでいくことではなく、分野を越えて課題解決に臨む人々がいかにつながりあっていけるかが肝となっていきます。つながりの持つ力を再認識して、より良い世界になるよう一歩を踏み出していきたいですね！

【制作協力】制作監修：ナカオカヅキ／イラスト：やわらかアートアカデミー スズキミ／特集・表紙撮影：Koen 鈴木 瞳／特集記事：N活区民ライター 三井むつみ／新規登録団体紹介記事：足立区社会福祉協議会ささえあいリポーター ワタナベエツコ

特集

子どもを中心に地域を創る

今、世の中がどうなっているかは子どもたちが教えてくれる

一般社団法人
あだち子ども支援ネット
代表 大山 光子（おおやま みつこ）

一般社団法人
あだち子ども支援ネット

活動内容：子ども・若者・家族・家庭に関わる環境課題全般の各種研修・講演会の開催、及び関係団体の連携・交流の場の設定。
活動場所：足立区全域、ポルテホールなど
連絡先　：domannakanetto@gmail.com
URL　　：https://peraichi.com/landing_pages/view/kodomocienn2915
https://sites.google.com/view/adachi-charinet/

地域の子らと楽しみながら

この日、初めてお会いした『あだち子ども支援ネット』代表の大山さんは、小雨が降る中、明るい笑顔で野菜の販売イベントをお手伝いしていました。

大山さんが活動を始めたのは、三十年ほど前のこと。自身の子育てのタイミングに合わせるようにPTAの母の会や地域の子ども会などから入り、自然な流れで今に繋がったのだそうです。お義母さまの介護をしながら子育てをしていたため、決して時間が余っていたわけではありませんが、自分の生活を犠牲にしてきたわけでもありません。時間をやりくりしながら楽しんで活動してきたといいます。

その後『子どもをど真ん中に』をコンセプトに地域活動として『〝がきんちょ〟ファミリー』を立ち上げ、教育委員会と協力して足立区初の『青少年の居場所づくり』を始めました。中高生が遊んで過ごせる自由な場所で、今も形を変えて続いています。現在は、『あだち子ども支援ネット』で足立区内の子ども達に関わる地域活動のつながりを作りながら、子育ての困りごと、家庭のトラブルの聞き役のできる地域食堂を楽しんでいるそうです。地域食堂（子ども食堂）は、楽しみにしてくれる方も多く、利用者は平均五十人くらい。ファミリーで来てくれる方たちもいて、多い時には七十人を超えることもありました。告知しても直前まで誰からも連絡がないことも多いのですが、最終的に「結構きたね」ということの繰り返しで、地域にこんなに人がいたのか、というほど集まって来てくれるそうです。そんな時、「人が人を求めている」ことを感じるといいます。

「今」を子どもたちから教わっている

大山さんは活動の中で「今を子どもたちから教わっている」という気持ちを大切にしています。パソコンもスマホの使い方もセキュリティのかけ方も、地域の中学生や高校生の子どもたちから教わったそうです。時には「馬鹿じゃね」なんてちょっぴり生意気なことをいわれることもあるけれど、「今はこんなことが流行ってるんだよ」「この歌知ってる？」など、様々な「今」を子どもたちから教えてもらい、自分が教えたことより、子どもたちから教わったことの方が、はるかに多かったそうです。普段、子どもたちは限られた大人にしか会わないけれど、同じ目線で話ができる大人の存在はとても貴重ではないでしょうか。

また、「やりたいことがあれば、モヤモヤしていないでやればいい」と、大山さんはいいます。子どもも大人も、既成概念や規範にとらわれず、やってみたいことに少しずつチャレンジしたら見えてくることがあるんじゃないかとおっしゃっていました。

お話を伺って、大山さんの子どもたちを包み込む大きな愛と活動を楽しむ心は、少し後ろを歩く人生の後輩である私たちが、お手本にできるところがたくさんあると感じました。

取材：三井むつみ（足立区NPO活動支援センター区民ライター）

新規登録団体紹介

聞きたい あなただけのストーリー

足立区社会福祉協議会ささえあいリポーターとの協同取材！

千住プレイス

代表 大西 由美子

ゆっくりと着実につながりを大切に育てる

千住プレイスは地域で孤立しがちな不登校・引きこもりの児童やその保護者を支援するため、社会的なつながりを提供する場として、二〇一九年四月から月一回のペースで主に北千住で活動をしている団体です。

居場所がみつけにくい子どもたちを支援する「場」を提供するために、主催スタッフが何よりも大切にしているのが参加者との信頼関係です。ゲームやお話、ただ参加するだけでも大歓迎。信頼できる大人に出会うこと、他者を頼ってもよいと思えること、これは一部の子どもにとっては時間と勇気が必要なことです。

千住プレイスのスタッフは子どもたちの自主性を尊重し、関係性が構築できるまで静かに待ちます。それができるのも、スタッフの中に社会福祉士、臨床心理士、言語聴覚士などの子ども心理に詳しい有資格者がいるからです。

子どもたち一人ひとりに合わせた支援活動に重点を置いているため、一度に多くの子どもたちを受け入れることが難しいのが現状のようです。そのため新規参加希望は原則として紹介制です。とはいえ、興味を持たれた方はぜひ相談や見学にいらしてほしいとのことです。経験豊かなスタッフによって的確なアドバイスを得ることができます。

ゆっくりと着実に、そして真剣に子どもも支援活動を続けている千住プレイスは、子ども支援を通して地域の未来を育てている、そんな団体でした。

取材：ワタナベエツコ（足立区社会福祉協議会ささえあいリポーター）

月一回の活動は子どもの単独参加だけではなく、保護者と一緒の参加も受け付けています。
senjuplace@gmail.com

注目の活動

センターピックアップ

今だからこそおうちで楽しむ ボードゲームズ

「その人のことが分かったり、仲良くなれる。世界のことも知れる。それが魅力です」ボードゲームで大人も子どもも楽しめる場を作っているボードゲームズさん。「外で集まれない状況ですが、家の中で子どもたちは親と遊ぶきっかけが欲しいと思っています。今だからこそ家族でボードゲームを楽しんでもらえたら嬉しいです」という言葉に、子どもたちへの温かい想いを感じました。どんな状況でも人とのコミュニケーションを大事にする活動をこれからも広げていってほしいと感じました。

海外のゲームからその文化や言葉も学べたり、壮大な戦略を練り長時間遊べるものも。大人も子どもも関係なく楽しめるのが魅力。
1000renkinjyutusi@i.softbank.jp